

行財政改革実施計画・行動計画票

[平成 22 年 8 月 2 日 提出]

No.	63							
基本方針	3 事務事業の整理合理化等					担当課名	総務課(行政班)	
重点項目	2 事務の効率化・迅速化・簡略化							
取組項目	54 事務手続の簡素化							
経過・現状 (H17.4.1現在)	・現在の各種申請事務は、全ての記載事項欄への記入と押印による受付となっており、申請事務が煩雑である。							
推 進 スケジュール	H17	H18	H19	H20	H21	目標年次	平成 20 年度	
	検討			実施	-			
実績評価	A	B	B	B	B	達成年次	平成 - 年度	
	計画どおり	計画見直し	計画見直し	計画見直し	計画見直し			
行 動 概 要	目標	事務手続の簡素化						
	期待される効果	・各種申請等における unnecessary 記載事項や押印等の見直しにより、申請事務に要する時間が短縮されて住民サービスの向上が図られる。						
	必要性 問題点	・各種申請書の様式等を改善するために、課内にて調査・検討する必要がある。						
	対象	総務課						
	手段	年度	実施内容・予定時期				効果額合計(0 千円)	
		17年度 (実績)	・各種申請手続の内容を検討。				目標 数値	
							効果	歳入(千円) 歳出(千円)
18年度 (実績)	・課長補佐会議の中で議題として取り上げ、簡素化の対象となる申請様式等の内容を各課で検討してもらったが、その結果について全課からの報告がなされていないため、次年度への継続とした。 ・報告があった内容については、次年度に協議する。 (資料として、保管)				目標 数値			
					効果	歳入(千円) 歳出(千円)		
19年度 (実績)	・課長補佐会議において組織機構の見直しを重点的に協議したが、事務手続きの簡素化まで言及することができなかった。				目標 数値			
					効果	歳入(千円) 歳出(千円)		
20年度 (実績)	・各課から様式等の報告を受けたが、事務手続きの簡素化に向けた協議は行わなかった。				目標 数値			
					効果	歳入(千円) 歳出(千円)		
21年度 (実績)	・申請書等の様式改善については具体的な進展なし。				目標 数値			
					効果	歳入(千円) 歳出(千円)		
関係例規等	名称					改正時期		